

## 1 生態と県内での生息状況

### (1) バン（ツル目クイナ科）

#### ①生態

- ・全長は約 30cm で、胴体はハトよりやや大きい。全体は黒褐色で、脇腹と尾の付け根の下面に目立つ白色部がある。くちばしは赤色で、先端が黄色。
- ・主として平野部の湿地、池沼、河川、ハス田などに生息。警戒心が強く、水辺の草むらなどに潜んでいることが多く、そこで営巣する。

#### ②県内での生息状況

- ・夏鳥として渡来し、河北潟、邑知潟、手取川などの水辺のヨシ原などで繁殖する。県内での越冬個体は少数である。

### (2) クロガモ（カモ目カモ科）

#### ①生態

- ・全長は約 50cm で、胴体はカラスよりやや小さい中型のカモ。雄雌異色、オスは全体が黒色で、くちばしも黒いが、付け根の上面に鮮やかな黄色のコブが目立つ。メスは地味な色調で、全体がほぼ暗褐色だが、頬から首の前にかけては汚白色。
- ・海ガモの一種。沿岸などに生息し、特に外洋に面した急崖の海岸に多い。通常は、内陸の湖沼などでは見られない。

#### ②県内での生息状況

- ・冬鳥として渡来するが少数であり、近年は高松海岸以外ではあまり見られない。

## 2 県内での捕獲禁止規制以前（過去 10 年）の捕獲状況（単位：羽）

種類	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9
バン	3	0	10	25	4	5	4	9	2	4
クロガモ	4	0	5	34	25	7	25	25	29	10

## 3 捕獲を禁止しようとする狩猟鳥 2 種による農林水産被害状況

報告事例なし

## 4 他県のバン・クロガモ捕獲禁止の状況

京都府：クロガモ（平成 29 年 4 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日）

## 5 捕獲禁止の経緯

- ・平成 10 年 11 月 1 日～平成 15 年 10 月 31 日  
対象狩猟鳥：ウズラ・バン・クロガモ
- ・平成 15 年 11 月 15 日～平成 20 年 11 月 14 日（5 年間延長）  
対象狩猟鳥：ウズラ・バン・クロガモ
- ・平成 20 年 11 月 15 日～平成 25 年 11 月 14 日（5 年間延長）  
対象狩猟鳥：バン・クロガモ
- ・平成 25 年 11 月 15 日～平成 30 年 11 月 14 日（5 年間延長）  
対象狩猟鳥：バン・クロガモ